

# 「家がいいね」 第38号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2007. 7. 14

## ねぎぼうずの中のホタル

これは私の記憶の中の螢。

飄々と得にもならない野良仕事に出かけるお祖父さんが、暗くなつて戻り、ねぎぼうずの中に

入れた螢を小学校低学年だった私にくれたのです。どんな光を放ったのか憶えていませんが、懐かしく嬉しい思い出となって残っています。



## 日韓大河ドラマの違いに思うこと

今、三重TVで再放映している「ホジュン」を見て彼我の差を実感します。日本の戦国時代と同時期に生きた彼は、身分が低く妾の子でありながら、医療に精進し国王の主治医にまで登りつめました。

しかしそれに止まらず、手に入れやすい国内に薬剤を採し、一部の独占的知識だった医学を、「東宝医鑑」に



実在したホジュン

まとめて普遍化したのです。

TVドラマも、その信念の生涯が描かれますが、立身出世と庶民の命とどちらが大切か、常に問われる内容になっています。朝鮮に侵略した豊



TVのホジュン

臣秀吉を描く日本の大河ドラマと、庶民の命の取り扱いは随分と差があります。「おしん」を作った時の気持とは、日本も遠くなったんでしょっか。

【引用】ホジュンが生涯の師とするユ・ウイテは、医員には8種があると常に論じ、自らも律した。

その第一は「心医」だ。患者を心からいたわる医員であり、患者はその目をみるだけで心の安らぎを感じると言つ。第二は「食医」。技術はあるが、患者に対する思いやりに欠ける医員。第三は「薬医」。患者を診るのではなく、患者の言葉だけを頼りに薬を処方する医員。第四は「昏医（こんい）」。第五は「狂医（きやうい）」。第六は「妄医（もうい）」。第七は「詐医（せうい）」。そして第八は「殺医（ころい）」。

「ホスピス・在宅ケア研究会」の言葉から

7・7「認知症は いま」講演会の言葉から

この二つの会の報告は、次号にまわします。

## NHK・BSハイビジョンで竹内浩三を特集

7月22日(日) 19時〜20時半

竹内浩三。大正10年伊勢市に生まれた竹内は、映画監督を夢見て日本大学専門部(現芸術学部)映画科に進学したが、在籍中に召集されフィリピンで戦死した。竹内は、中学時代から書き綴った詩や漫画、入隊してからの日記を書き残していた。それらのものから浮かび上がってくるのは、繊細で、デリケートな感性を持ち、傷つきやすい若者の姿。竹内はかっこうよくない。弱虫で、いじめられてばかりで生きつつも、夢を追い、恋をし、破れ、嘆き、戦争に怯え、しかしそれに逆らえず戦争に行った。その姿は、現代の若者に重なり合い、多くの人々に共感を広げている。しかし、その青春は戦争によって終わった。【番組紹介より引用】

## 南勢地域緩和ケアネットワークのご紹介

7月26日(木) 18時40分から

「丸二ホテル伊勢」1階(医療介護関係者向け)

当院の訪問看護師の報告もあります。

「頑固さに寄り添って 在宅で看取った4ヶ月」

## 三好春樹氏の介護の特別講演会のご紹介

8月11日(土) 14時から16時半

「ハートプラザみその」にて(申込み要)

連絡先・電フアクス 20・5277 西山方

## 若い医師の在宅医療の研修について

伊勢総合病院の研修医の先生が、訪問に同行します。御協力をよろしくお願い申し上げます。

## 夏季の臨時休業です

8月12日(日) 日曜 休院  
8月13日(月) 臨時 休院  
8月14日(火) 臨時 休院  
8月15日(水) 臨時 休院  
8月16日(木) 代替で開院



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)

<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>